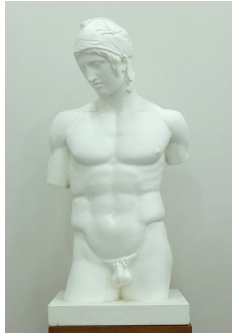
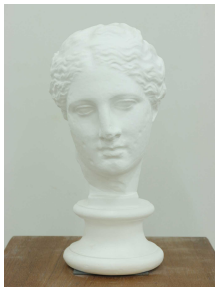




年度 (前・後期)	油画 問題資料		日本画 問題資料	
	素描 6時間 木炭紙又は画用紙	着彩 9時間 F15号キャンバス または、F15号水張り用紙	素描 6時間 木炭紙サイズ水張り用紙	着彩 9時間 F15号水張り用紙
2014年 (平成26年) 前期入試	<p>「モチーフ(鏡とアルミホイル)を利用して、自分の解釈により自由に素描しなさい。」</p> <p>【注意事項】試験開始までモチーフに触らないでください。モチーフの取り扱いには自由ですが、鏡(スタンド部分を含む)については、破損させないように取り扱いください。画面の縦位置、横位置は自由です。ペンジンやアルコールなどの揮発性の高い液体の使用を禁止します。出題に関する質問は一切受け付けません。</p> <p>モチーフ : スタンド付の鏡(1)、箱入りアルミホイル(1)</p>	<p>「人物を着彩しなさい。」</p> <p>【注意事項】作品をモデル台のところに持っていくことはできません。出題に関する質問は一切受け付けません。</p> <p>他: モデルのポーズ時間を記載。 着彩1日目: 20分×12回 着彩2日目: 20分×6回</p> <p>モチーフ : パイプ椅子に座った着衣の人物モデル</p>	<p>「与えられたすべてのモチーフを使って構成し、素描しなさい。」</p> <p>※注意 ・モチーフは自由に扱ってかまいませんが、他の受験者に迷惑がかからないようにしてください。 ・水張り用紙は縦と横、自由に選択できます。 ・イーゼルの位置は多少、動かしても結構です。 ・なお、出題に関する質問は、受け付けません。</p> <p>モチーフ: 和紙提灯(1)、レース模様のクロス(1)、パプリカ(2種類1)、フルーツパイア(1)、アボガド(1)、ガラスコップ(1)、ペットボトル入オレンジジュース(1)、縄跳び用縄(1)</p>	<p>「モチーフ台にセットされた、モチーフを描写し、自由に着彩しなさい。」</p> <p>※注意 ・モチーフに触れてはいけません。 ・パネルをモチーフ台に置いたり、立て掛けたりしてはいけません。 ・イーゼルの位置は多少、動かしても、立て描いても結構です。 ・水張り用紙は縦と横、自由に選択できます。 ・なお、出題に関する質問は、受け付けません。</p> <p>モチーフ: 鉢植えのサボテン(2)、籐のイス(1)ガラスの浮き(3)、灯油ランプ(4)、布(1)</p>
	   			
	<p><b>小論文(油画・日本画) 1時間</b></p> <p>「絵画」と「未来」について、あなたの考えを自由に論じなさい。 ・文字数は、400字以上、800字以内とする。 ・出題に関する質問は一切受け付けません。</p>			
2014年 (平成26年) 後期入試	<p><b>油画 問題資料</b></p> <p><b>着彩</b></p> <p>10.5時間 F15号キャンバス または F15号水張り用紙</p>		<p><b>日本画 問題資料</b></p> <p><b>着彩</b></p> <p>10.5時間 F15号水張り用紙</p>	
	<p>「段ボール箱を台、または入れ物として設置し、箱の中のモチーフにあなたの私物を一つ加えて、それらを自由にセットして静物着彩画を描きなさい。」</p> <p>【注意事項】 1 画面の縦・横の選択は自由。 2 モチーフを燃やす事や、揮発性の高いシンナー等の使用は禁止。 3 箱を含めたモチーフは、作画の中に必ず取り入れる事。 4 箱とふたは、縦、横、外側、内側等、床を含めたセットの仕方は自由。 5 中の押しピンと黄色いテープはモチーフではないが、モチーフの固定に必要な場合使ってよい。 6 問題に関する質問は受け付けません。</p> <p>モチーフ: 蓋付ダンボール箱(1)、布(1)、青カラーペーパー(1)、赤い折り鶴(1)、巻紙ひも(1) その他: モチーフ内容物の確認書。モチーフを固定するためのマスキングテープ(1)、画紙(3)</p>		<p>「セットされたモチーフを着色写生しなさい。」</p> <p>イーゼルの大幅な移動は禁止です。 イーゼルの向きは、多少変更しても構いません。 画面上に、必ず2種類の鉢植えをいれなさい。</p> <p>モチーフ: 鉢植えの紫陽花(3)、陶器に入った観葉植物(サミル)(3)顔料の入ったガラス瓶(青・緑系14)、家を模った積木(32)、カレンダー(10)、ポスター(4)</p>	
				
<p><b>小論文(油画・日本画) 1時間</b></p> <p>出題: 美術活動と地域貢献、又は、美術活動と社会貢献について あなたの考えや、思うところを自由に論じなさい。 ・文数は400字以上800字以内とする。・出題に関する質問は一切、受け付けません。</p>				
<p><b>面接(油画・日本画)</b></p>				
<p>受験番号順に、1名から2名のグループで面接を行なう。 1グループ 10～15分。</p>				

平成26年度 彫刻専攻 入試問題資料

		彫刻専攻 入試問題資料			
		素描（石膏像） 7時間	素描 3時間	塑造 6時間	面接
平成26年度 前期入試	試験内容	石膏像の素描(木炭デッサン)	人体素描 モデルの腰から上を描いて下さい	石膏像の模刻	
	持参する 用具等	木炭、消具(パンや練りゴム)、下敷用紙(未使用木炭紙)	鉛筆、消具	塑造用具は本学で用意する	1年以内に描いた素描5枚(紙の種類、大小を問わない) その他作品資料があれば持参
					
平成26年度 後期入試	試験内容	石膏像の素描(木炭デッサン)	人体素描 モデルの腰から上を描いて下さい	与えられたモチーフと手を構成して塑造	
	持参する 用具等	木炭、消具(パンや練りゴム)、下敷用紙(未使用木炭紙)	鉛筆、消具	モチーフ:電球(一人一個) 塑造用具は本学で用意する	1年以内に描いた素描5枚(紙の種類、大小を問わない) その他作品資料があれば持参
					

	試験科目	時間	モチーフ(配布)	その他配布物	指示等
平成 26 年度	素描	6時間	耐火レンガ 1 ショート チェーン 1 ガラスキャニスタ 1 リンゴ 1 レモン 1 	イラストボード1枚 下書き用紙1枚	<b>【問題】</b> 配布されたモチーフを机の上に自由に配置して、イラストボードに鉛筆デッサンしなさい。 注意事項(厳守) 1. 配布されたモチーフはすべて描くこと。 2. ガラスキャニスターの蓋は閉めたまま描くこと。 3. イラストボードはヨコ位置とする。 4. 裏面に記載されている受験番号が正しいか確認すること。また、裏面に鉛筆デッサンしないこと。 5. フィクサチーフは使用しなくて良い。
	色彩構成	6時間	グラス 1 キッチンバサミ 1 糸菊 1 	イラストボード1枚 下書き用紙2枚 絵具	<b>【問題】</b> 配布されたモチーフを使い、イラストボードに自由に色彩構成しなさい。 注意事項 1. 配布されたモチーフはすべて使うこと。 2. グラスは割らずに使用すること。 3. セパレート式キッチンバサミは、取り外して使用してもよい。 4. 糸菊の花を保護するネットはモチーフではない。使用する際に取り外すこと。また、花に差した水入れ用キャップもモチーフではない。 5. イラストボードはヨコ位置とする。 6. 裏面に記載されている受験番号が正しいか確認すること。また、裏面に色彩構成をしないこと。 7. 裏面に色彩構成の上下がわかるように矢印(↑)で構成の上を明記すること。 8. 配布された絵具を使うこと。それ以外の絵具の使用は禁止とする。

	試験科目	時間	モチーフ(試験問題)	配布物	指示等
平成 26 年度	想定描写	2時間30分	下記の言葉をすべて使い、自分なりの物語を想像しなさい。そして、その情景を描写しなさい。  夏、海、友達、帽子	問題用紙1枚、 画用紙(B3)1枚、 下書き用紙(A3)2枚	① 画中には必ず人物(老若男女を問わない)を1名以上入れること。 ② 鉛筆で仕上げること。 ③ 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。 ④ 作品の天地方向を受験番号の右横に、↑印(天)で明記すること。 ⑤ 受験番号記入欄のある面を裏とする。
	素描	3時間30分	モチーフを見たとおり、正確に鉛筆で描写しなさい。モチーフは以下のとおりです。  椅子、タオル  	問題用紙1枚、 画用紙(B2)1枚、 下書き用紙(A3)2枚	① 鉛筆で仕上げること。 ② 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。 ③ 受験番号記入欄のある面を裏とする。
	平面表現	2時間30分	第1問 与えられた素材をもとに色彩構成しなさい。(配点:70点)    第2問 上記の制作について100字以内で説明しなさい。(配点:30点)	イラストボード(A4)1枚、 回答用(A4)用紙1枚、 下書き用紙(A4)2枚	① アイディアは準備されたA3の下書き用紙を使用しなさい。 ② 作品の位置はタテ、ヨコいずれでもよい。 ③ 作品の天地方向を受験番号の右横に、↑印(天)で明記すること。 ④ 受験番号記入欄のある面を裏とする。  「第2問解答用紙」に記入すること。

立体表現	3時間30分	<p>問題1 「どっしりした」をテーマに美しい立体物を想定し、描写しなさい。(配点:20点)</p> <p>問題2 1で描写した立体物を粘土で忠実に作りなさい。(配点:80点)</p>	<p>問題用紙1枚、 画用紙1枚、 粘土、 下書き用紙2枚</p>	<p>① 与えられた画用紙(A3)を使用すること。注1)受験番号記入欄の面を裏とする。注2)画面はタテ位置でもヨコ位置でも構わない。</p> <p>② 立体物は一つの塊とし、物理的にも安定した造形表現にすること。</p> <p>③ 想定する立体物の素材は粘土であること。</p> <p>① 与えられた粘土(1kg)を全て使用し、与えられた板(45cm×45cm)の上に制作すること。</p> <p>② 立体物は一つの塊とし、物理的にも安定した造形表現にすること。</p>
面接	—	—	—	—

芸術学専攻 入試問題資料 2014年度前期・後期～(平成26年度 前・後期～)

年度 (前・後 期)	芸術学専攻 問題資料 ※素描、小論文から選択	
	小論文 2時間	
2014年 (平成26年) 前期入試	<p>問1「アート」と「デザイン」の相違点と共通点はどのようなものだと思うか、論述しなさい。</p> <p>問2 次の文章を読み、筆者が下線部の箇所において言わんとしているところの意味を説明しなさい。また、現代社会におけるイメージについて、思うところを述べなさい。</p> <p>※出典 前田茂「開かれたイメージの世界」岡林洋・大森淳史・川田都樹子監修『アートを学ぼう INVITATION TO ART THEORY』ランダムハウス講談社、2008年、26_27頁。)</p> <p>受験生が用意すべきもの: 筆記用具</p> <p>問題用紙: A4サイズ一枚に問1と2を記載。 解答用紙: 問1、問2用にそれぞれ1枚(B4サイズ) 下書き用紙: B4サイズ2枚</p>	